

MAINICHI

新毎日

7月20日(日)
2008年(平成20年)

発行所: 東京都千代田区一ツ橋1-1
〒100-8051 電話(03)3212-0321
毎日新聞東京本社



入浴者増加、海水浴場は混雑。江の島(中島和哉撮影)

来年度予算

重点枠 3000億円に拡大

医師不足対策など

政府は19日、09年度予算編成に向けて月内に決める概算要求基準(シーリング)で、福田康夫首相が掲げる重要政策に予算を重点配分する「重点化促進枠」を08年度の500億円から6倍の3000億円に拡大する方針を固めた。財務省は財源確保のため、公共事業費の圧縮幅を08年度比3%から最大5%とするなど、公共事業を含む政策経費(08年度計約14兆円)を例年以上に絞り込む。

政府は、道路特定財源の一般財源化をテコに予算配分の大胆な見直しに踏み込む方針だが、公共事業費削減については、解散・総選挙をにらむ与野党の反発が強まるのは必至。週明けに始まる与野党との調整は難航しそうだ。

シーリングで、政府はこれまで「骨太の方針06」に沿って公共事業費を同3%、防衛費や国立大学運営費を、市長の7割超が確保

市長半数「慎重に」

介護報酬上げ 財政難7割が人材難懸念

介護保険制度に基づいて介護サービスを担う一方、職員の賃金の財源となる介護報酬の引き上げには過半数が慎重なことが19日、全国市長会のアンケートで分かった。介護職員の人材不足は低い賃金水準が原因と指摘されている。しかし、介護報酬の引き上げは保険料の上昇と制度運営する市町村財政の負担増につながりかねず、その点を多くの市長が懸念する現状が明らかになった。

介護サービスの事業とみられている。アンケートは4〜5月に実施された。市長の介護保険対策特別委員会に所属する市町村は81市のうち、74市から回答を得た。

人材確保や育成については「困難な状況にあり、深刻な課題」と回答した市は36.5%。「やや困難だが、事業者の努力などで解決できている」は37.8%だった。7割以上の市が「人材確保は容易でない」と認識していた。

引き上げに関しては「報酬を職員に適切に配分できる仕組みを整備したうえでなければ引き上げない方がよい」との回答が51.4%に達した。背景には「(介護職の)給与が高い」と言い難いが、

邦銀「倫理度」低く

クラスター融資など判定

中、オランダの非政府組織(NGO)が、世界の大手45金融機関の「倫理度」を数値化した。その結果、日本の主要3グループは欧州の先進的金融機関の半分以下だった。不発弾が市民を殺傷するクラスター爆弾の製造企業への融資や環境保護への取り組みの甘さが批判されている。

調査は、オランダのNGO「バンク・トラック」が三菱UFJ、みずほ、三井住友の3フィナンシャルグループを含む世界の主要金融機関を対象に実施。農林水産や軍事など7産業分野での融資姿勢や気候変動、環境保護などへの取り組みなど、計18項目について国際法や国際基準を基

「倫理度得点」

HSBC	100
ING	95
三菱UFJ	45
みずほ	40
三井住友	35
オランダ	90
ドイツ	85
フランス	80
アメリカ	75
日本	40

【福原直樹】

毎日新聞社は英文サイト「毎日デイリーニューズ」上のコラム「Wai Wai」に、極めて不適切な記事を掲載し続けていました。内部調査の結果を22、23面で報告します。日本についての誤った情報、品性を欠く性的

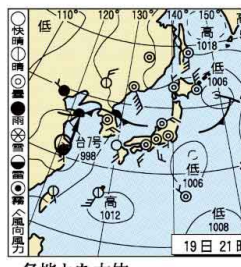
英文サイト出直します

経緯を報告しおわびします

毎日新聞社は英文サイト「毎日デイリーニューズ」上のコラム「Wai Wai」に、極めて不適切な記事を掲載し続けていました。内部調査の結果を22、23面で報告します。日本についての誤った情報、品性を欠く性的

「毎日新聞」の信頼を失った。有識者による「開かれた新聞」委員会の指摘

8月1日付で「毎日デイリーニューズ」を新体制に組み替え、新編集長を中心とした国際記者グループを新設し、企画や記事の内容をチェック



各地とも大体晴れる。午後は関東東にわか雨や雷雨の所も。厳しい暑さ。

余録

「世界で一番やかましい」といわれる大阪のクマゼミ。今夏の発生量は、昨年の約8割で平年並み、と大阪市立自然史博物館の学芸員、初宿成彦さんが予想している。周りの長居公園の初鳴きは9日、昨年より10日遅かった▲鳴き音のピークは8月1日、90分(騒々しい工場の内部)程度という。街のクマゼミは人を恐れず、低い木でもかき鳴く。その大合唱は夏の甲子園が終わるころまで続き、暑さをかきつけた▲クマゼミは南方系で、30年前まで大阪では少なかった。だが、昨年の調査では府内で7割、大阪市内で9割を占めるまで増えた。温暖な和歌山県ではアラゼミのほうが多く、クマゼミにとってヒートアイランド化した大阪の街はすくぶる快適のようだ▲クマゼミは数年に及ぶ幼虫期を樹木の根で生息する。その分布を左右するのは気温ではなく地温で、大地の温度の微妙な差によるという。クマゼミの分布が北上する傾向が見られるが、それは地球温暖化よりも各地の都市化現象による影響のほうが大きいという「身近な生物を通じて温暖化に気づいてほしい」と環境省の生物多様性センターが今月から開花や虫が鳴く時期を調べる初の全国調査「いきものみっけ」を始めた。今夏のテーマはクマゼミ。ツクツクボウシ、ミンミンゼミ、クマゼミの分布や鳴く時期をホームページで公開中▲アラゼミやミンミンゼミが優勢な東京近郊でも近年はクマゼミの鳴き声が聞かれる。「2030年ごろには東京でもクマゼミが大量発生する」と初宿さんは予測する。夏休みに入り、ときには「夏の声」の移り変わりにもじっと目をすませたい。